

むすび+

プラス

ともに育ち 学びあう活動—実践編

委員会をはじめ、年間を通して活動する組合員を"むすび"ます。活動の紹介、情報発信の場をめざします！

2021年度保育担当者説明会開催

「パルシステム東京の保育制度」は、小さな子どものいる組合員が安心して企画や会議に参加できるようにとつくられた、組合員同士のたすけあいが基本の仕組みです。新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた、安全・安心な保育への理解を深めるための説明会が開催されました。その様子と、基本的な保育利用心得についてお伝えします。



■オンラインでの開催に

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が続くなか、集合形式を含めた5回の説明会を予定していましたが、全回オンライン形式に変更し、第1回保育担当者説明会を開催。延べ115名が参加しました。

組織部の担当課長からは、「保育制度の運用は、むすび等にてお知らせする【新しい生活様式での組合員活動ガイドライン】に準じて進めます。組合員や委員会からも、「早く子どもと一緒に参加したい」「集合の企画を行いたい」、保育スタッフからも「子どもたちに会いたい」などの声が聞かれます。コロナが落ち着いて、小さいお子さんを連れて参加できるような企画がたくさん開催される日が来ることを待ちましよう」と挨拶。パルシステム東京の保育制度は、組合員が組合員の子どもを保育するという、組合員同士のたすけあいを基本としていること、子どもを預ける参加者・企画をする委員会・保育サポートバンビ・保育スタッフ・組織部にて、お互いの信頼と協力で成り立っていることなどの説明がありました。

■保育担当者が知っておくこと

その後、保育コーディネーターから、保育担当者が知っておく「基本なお約束」についてと、必要書類の記入方法などの実務についての解説がありました。



子どもたちに人気のある、手作りの遊び道具の話もありました

主な改善点として「9-2 保育受付表・報告書」で、コロナ感染症対策としての体温記入欄と、保育スタッフの感想欄を加え、2枚記入提出が必要だっ



組織部から概要が、保育サポートバンビからフォーラムの記入方法について、簡潔でわかりやすい説明がありました(5月7日新宿本部)

たものを1枚にし、保育担当者への負担の軽減を図りました。また、昨年8月から運用が始まった、「保育制度におけるコロナ感染症対策について」から、保育前に子どもの手指の消毒や、2歳児以上のマスク着用、おむつ替えは保護者が行う、などをお願いしました。

そして、保育備品と救急品など準備するものについて説明があり、敷物やおもちゃについてはセンターから貸し出しができることも確認しました。

保育担当者、保育スタッフが一緒に安全で楽しい保育ができるよう、理解を深め共有することができた保育担当者説明会になりました。

—保育の現場を担当しています—

★保育スタッフ

実際に現場で保育を担当。組合員限定で募集・登録して活動しています。毎年、保育スタッフ研修会・交流会を行い、保育の安全とルールの共有をはかっています。

★保育コーディネーター

委員会からの依頼を受けて保育スタッフを手配。保育会場となるエリアごとに配置され、「保育サポート・バンビ」のメンバーが行っています。エリアごとの担当一覧は「保育のしおり」表紙裏に掲載しています。

★ワーカーズ「保育サポート・バンビ」

「保育サポート・バンビ」は、パルシステム東京から保育制度についての業務を受託しています。保育スタッフの配置や各委員会との連絡、コーディネート、各種説明会や保育スタッフの募集・登録、研修などを担当しています。

保育の利用心得－委員会編

■保育の依頼はお早めに必ず「保育依頼書」を提出

企画や会議が決まったら、

- ①いったん予定情報を「保育依頼書」に記入し保育コーディネーターに提出します。これが「仮予約」のような形になります。
- ②その後、確定情報を7日前までに「保育依頼書」（再提出分）として保育コーディネーターに提出。
- ③特に、定例会などの場合、「毎月決まっているから…」など、

保育の利用心得－利用者編

